土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	その他河川 天地川 外 砂防激甚災害対策特別緊急事業に係る業務委託
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	

ボーリング名	Bor-7	調査位置	広島県安芸郡坂町小屋浦	北緯	34° 18' 25.6511"
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年 6月16日～ 令和2年 6月18日	東経	132° 30' 58.0440"
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 50.05m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	5.00m	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1-B58 / エンジン：ヤンマーNFD13 / ポンプ：東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	48.35	1.70		礫混り砂		淡褐	rd5		中～粗粒砂。 φ5～30mmの角礫・亜角礫が不規則に混じる。	6/18 0.80
2	47.55	2.50		玉石混り砂礫		淡褐	rd5		φ5～40mmの亜角礫・亜円礫と長さ30cmの硬い玉石が混在。	
3	45.05	5.00		花崗岩		淡灰褐 淡褐灰 淡灰褐			中硬岩相当の花崗岩。 長さ10～55cmの短棒状又は棒状。一部は厚さ2～8cmの岩片状。 全体に水平方向の割れ目が発達する。 深度2.70～2.80m、深度4.40m付近は傾斜90度及び70度の割れ目を挟む。 岩質は硬く、ハンマーの打診で金属音を発する。	

標準貫入試験

深度―N値図（0 10 20 30 40 50 60）

N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
50以上	1.15	7	43		50/130	130	
	1.28		30				
50以上	2.25	3	7	40	50/250	250	
	2.50			50			
50以上	3.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	4.00	貫入不能			50/0	0	
50以上	5.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1.15	P-1	⊖		6/16
1.28				
2.25	P-2	⊖		6/18
2.50				